

# 令和4年度ブロック研修会報告書【提出期限：3月末】

令和5年2月28日

全国保健師長会事務局 辻 様

E-mail info-phn@jpha.or.jp

東北ブロック

令和4年度ブロック研修会の実施結果について、下記のとおり報告します。

<b>研修テーマ</b>	子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点の一体的な支援に向けて ～より効果的な支援につなげるための保健師活動～
<b>研修の概要</b>	日 時： 令和4年10月1日（土）13:00～15:40 会 場： 杉妻会館 牡丹（福島市） 開催方法： 参集及びオンラインによるハイブリッド開催 参加人数： 187名（会場参加：29名 オンライン：158名） 内 容： ○来賓祝辞 福島県保健福祉部長 國分 守 氏（会場参列） ○令和4年度全国保健師長会活動報告 全国保健師長会 前田 香 副会長（会場参加） ○実践報告「子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点の一体的な支援に向けて」 福島県児童家庭課 三瓶光太氏（会場参加） 喜多方市社会福祉課 若林章都氏（オンラインにて） ○講演「子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点の機能と役割 ～より効果的な支援につなげるための保健師活動～」 公益社団法人母子保健推進会議 会長 佐藤拓代氏（会場参加）
<b>意見交換の内容など</b>	市町村は、令和6年度からこども家庭センターを設置に努め、妊娠期から子育てや子どもに関する相談を受けて支援をつなぐためのマネジメントを担うこととなることから、その機能と役割について理解を深め、より効果的な支援につなげるための保健師活動について学んだ。 まず、実践報告では本庁主管課より、今年度から児童相談所に市町村支援担当児童福祉司及び保健師を配置し、要対協と母子保健との連携・支援を行うとともに、子育て世代包括支援センターや医療機関との情報交換や連絡調整を積極的に実施する体制となった旨の報告がなされた。 喜多方市からは、令和3年度から先駆けて「子ども家庭総合支援班」を設置し、保健師、助産師、精神保健福祉士等が配置され、妊娠期から子育て期までのきめ細かな支援体制を構築している等の報告があった。 佐藤拓代氏から、子育てを自己責任にしない、孤立させない、群れとしての子育てができる予防的支援に軸足を置く支援体制が重要とのメッセージをいただいた。
<b>報告者</b>	所属・氏名： 福島県県南保健福祉事務所 健康福祉部 尾形幸子 電話番号： 0248-22-5444 アドレス： ogata_sachiko_01@pref.fukushima.lg.jp